

【別紙様式】

長野県松本市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	新型コロナウイルス対応地域公共交通運行支援補助金		
総事業費 (千円)	88,910千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	88,910千円
事業概要	<p>①目的 市内の路線バス及び地域鉄道（上高地線）の利用者が大幅に減少し、運行事業者の収益が悪化している公共交通事業について、事業の継続を図り、運行の廃止・縮小による市民生活への悪影響を回避する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 R3経営状況による以下の算定を目安に、事業の継続に必要な額を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス 算定額（年間走行距離×運行単価-運行収入等見込額-既支援額） 61,315千円（1,093,219キロ×448.56円-386,920千円-42,140千円） ・地域鉄道（上高地線） 算定額（（運行経費-運賃等収入見込額）×1/2-既支援額） 27,595千円（（347,614千円-264,424千円）×1/2-14,000千円） <p>③交付対象 1）交付対象者 アルピコ交通株式会社 2）交付対象者の選定理由・選定方法 アルピコ交通株式会社は、市内の路線バス及び地域鉄道といった公共交通事業の多くを担っており、事業の継続は市民の足の確保という観点から不可欠である。新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し、収益が悪化していることから、公的支援を行い、公共交通網を維持する必要がある。</p> <p>④期待される効果 将来に向けて持続可能な交通インフラの確保</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、鉄道及び路線バスの利用者が減少しており、当該事業者の収益が悪化している。通院、買い物、通勤及び通学など市民の「足」を確保するために公的支援を行う。</p>		